

釜石発

復興スタジアムを公開



ラグビーワールドカップの会場となる釜石鶴住居復興スタジアムが公開されました。グラウンドは、土に人工繊維を混ぜた

地盤に天然芝を植えた「ハイブリッド芝生」で、耐久性を高めています。オープンの8月19日には釜石シーウェイブスとヤマハ発動機ジュビロの記念試合が行なわれます。(8/3 ニュースエコー)

盛岡発

さんりく北リアス号運行

JR山田線と三陸鉄道北リアス線の直通列車の運行が始まりました。北三陸の観光を後押ししようと2014年に始まったこの期間限定の「さんりく北リアス号」。



山田線の土砂流入事故の影響で休止されていたもので、3年ぶりの復活です。心待ちにしていた鉄道ファンがJR盛岡駅から列車に乗り込み、運行開始を喜んでいました。(8/3 ニュースエコー)

大船渡発

盛川あゆっこまつり



大船渡市のアユのつかみ取り大会が、8年ぶりに行われました。大船渡市を流れる盛川の支流、立根川でのこの催しは、津波でアユのふ化場が全壊したため震災以降は中止されてきました。用意されたアユは春から育てられてきた5000匹。集まった人たちは20分間のつかみ取りに挑戦し、無我夢中でアユを追いかけました。(8/5 ニュース)

釜石発

身元不明遺骨を納骨堂へ

震災の犠牲者の中で、身元が分からない人たちの遺骨を納める納骨堂が釜石市に完成し、納骨式が行われました。納骨式では、参列者が見守る中、釜石市の仙壽院が預かっていた10人の遺骨が納められました。釜石市は納骨された遺骨について、引き続き身元の特定に努めたいとしています。(8/6 ニュースエコー)



陸前高田発

地元で「けんか七夕」

陸前高田で、山車同士が激しくぶつかり合う「けんか七夕」が行われました。去年とおととしは復興工事のため、気仙川をはさんだ対岸で行われましたが、今年はかさ上げされた気仙町今泉地区に3年ぶりに戻ってきました。祭り伝統の場所に笛や太鼓の七夕囃子が響き渡り、地域の人たちを勇気づけていました。(8/7 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、9月2日(日)に開かれる宮古市の「閉伊川川下り大会2018」について伝えてくれました。この川下り大会は変化に富んだスリリングなコースが人気で、例年300人ほどが参加するという事です。3年前から去年までは大雨や台風被害で中止となっていて、今大会は4年ぶりの開催です。問い合わせは大会事務局の閉伊川遊イング事業実行委員会まで。(8/8)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122